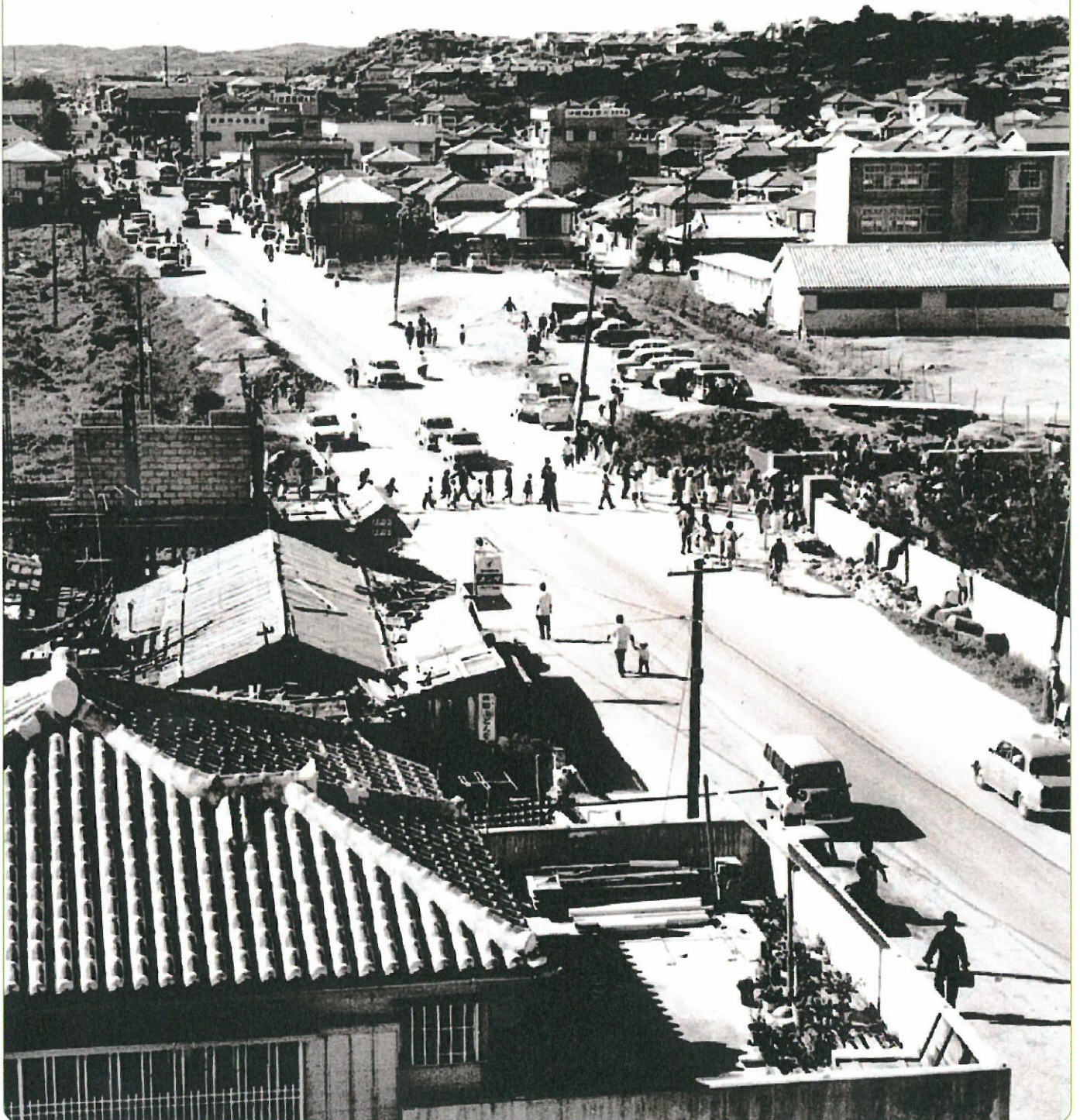


国道330号沿線域交通環境整備計画(素案)

(安里十字路～楚辺交差点)

平成 年 月 沖縄県土木建築部
沖縄県警察本部 交通規制課
那覇市 都市計画部・建設管理部



復帰以前のみめゆり通り(国道330号) 神原小学校前の状況

国道330号及び沿線地域の交通状況

■ 国道330号(安里十字路口～楚辺交差点)は那覇市を南北に貫く幹線道路です。全国に比べて自動車依存の高い沖縄の中でも有数の渋滞路線となっています。また、当該区間は観光拠点の国際通りを中心とした中心市街地や新都心地区、高齢化が進む中心市街地縁辺部の住宅地に隣接し、それらの周辺地域から発生する交通の受け皿となっています。そのため、渋滞対策を検討

するにあたり、「沿線アクセスへの配慮」や「歩行環境の改善」、「街の活性化」、「観光交通への対応」などの多面的な課題を考慮する必要があります。周辺地域を一体に捉えた交通改善策の実施が求められます。そこで、各関係機関より、国道330号及び沿線域の交通環境改善を図ることを目的として、「国道330号沿線域交通環境整備計画」を作成しました。

高齢化の進行

高齢者及び児童生徒が安心して生活できる環境が必要です

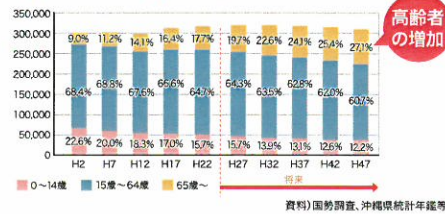


■ 那覇市の人口は、開発により増加していますが、旧来からの市街地(壺屋、安里、寄宮)の地域では、高齢化が進んでいます。

■ 当該地域では小中学校が立地していることから、交通環境を改善するにあたり、高齢者及び児童生徒が安心して生活できる環境を目指します。

【対策の概要は、4ページを参照】

那覇市の年齢層の変動及び予測



高齢者の増加

慢性的な渋滞

国道330号沿線においては渋滞が激しく、渋滞対策が必要です

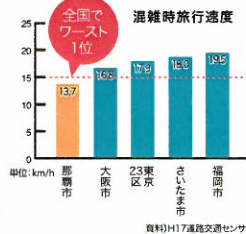
混雑時旅行速度 ※旅行速度:移動に要した時間(信号待ちや交通渋滞による停止を含む)



■ 那覇市内の混雑時における車の走行速度は、全国の県庁所在地としては最下位となり、渋滞緩和に向けた対策を行います。

■ 国道330号の渋滞対策としては、「交差点改良」及び「信号サイクルの適正化」、「交差点の集約」を行い渋滞の改善を図ります。

【対策の概要は、4ページを参照】



生活地域内事故の多発

国道330号だけでなく、沿線地域内の交通改善が必要です

交通事故発生箇所

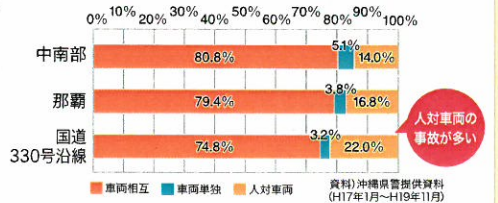


■ 交通事故の発生状況を見ると、国道330号だけでなく、通過交通の流入等により生活地域内でも発生しています。事故の内訳は、人対車両及び高齢者の事故の割合が高くなっていることから、沿線地域内の交通改善を図ります。

■ 沿線地域内の事故対策として、交通規制の見直しや、車の速度抑制対策等を行い、交通事故の削減を図ります。

【対策の概要は、4ページを参照】

地域別交通事故の内訳



人対車両の事故が多い

歩行者の安全性

歩行者及び自転車利用者の安全な歩行・走行空間の創出が必要です



■ モノレール安里駅より南側においては、歩道幅員や路肩が狭く、歩行者及び自転車の相互の安全性が低下していることから、安全な歩行・走行空間の創出を図ります。

■ 安全な歩行・走行空間の創出として、国道330号の横断構成の見直しを行い、歩行者及び自転車の安全性の向上を図ります。

【対策の概要は、4ページを参照】



歩行者と自転車の交錯

国道330号沿線域交通環境整備計画概要

沖縄県と沖縄県警、那覇市における計画の方向性及び「国道330号沿線域交通環境整備計画」が目指す方向性を踏まえ、検討区間の交通機能及び空間機能と、沿線地域や周辺地域の街づくりに貢献することをねらいとして、基本的な3つの方針に基づいた6つの施策を組み合わせ、効果的に展開していきます。

【国道330号及び周辺の幹線道路網の整備の方向性】

- 那覇市の中心に位置し南北に貫く国道330号の幹線街路として必要な交通機能及び空間機能の改善を目指します。
- 道路の機能を踏まえ体系的な道路網の構築を図り、那覇都市圏の交通円滑化及び沿線地域の交通環境の改善を目指します。

【沿線地域の整備の方向性】

- 中心市街地、住宅地、観光地としての特性を生かし、まちの活性化や安全安心な生活空間の創出に資する交通環境を目指します。

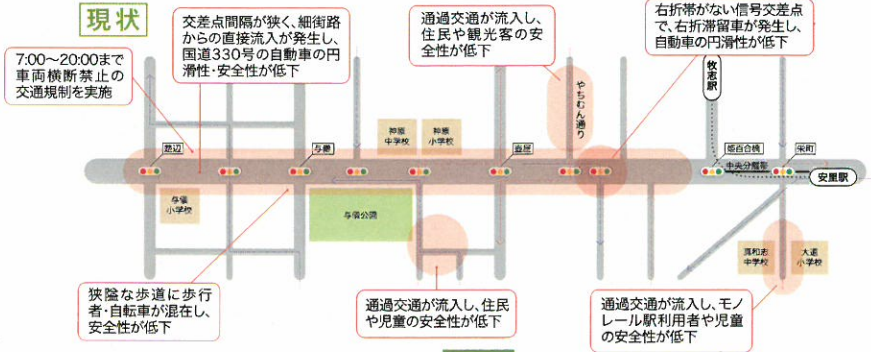
3つの方針

1. 国道330号及び周辺道路網の自動車の交通機能の改善
2. 国道330号及び周辺道路網の歩行者・自転車の交通機能、空間機能の改善
3. 沿線地域の賑わいや、安心・安全な生活空間の改善

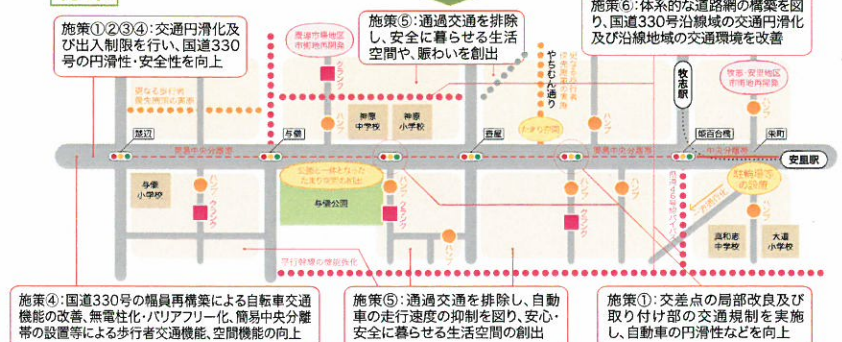
6つの施策

- ① 交差点改良
- ② 交差運用(信号制御)の改良
- ③ 交差点集約
- ④ 幅員再構築
(バリアフリー化、無電柱化、自転車走行空間、簡易中央分離帯等の設置等)
- ⑤ 沿道ブロック別の地区交通計画(ゾーン対策)
- ⑥ 周辺の幹線道路網

現状



将来



施策①: 交差点改良

神原小学校前交差点及び日野通り交差点において、交差点改良を行い国道330号の走行性の改善を図ります。



神原小付近

施策②: 交差運用(信号制御)の改良

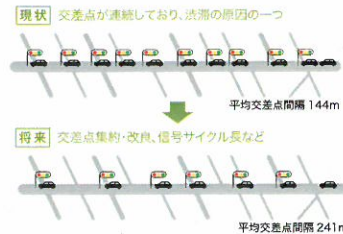
車の流れに合わせた信号サイクルの検討を行うことで、国道330号の走行性の向上を図ります。



与儀公園付近

施策③: 交差点集約

国道330号では、交差点が連続していることが渋滞原因の一つであるため、交差点の集約を行いひめゆり通りの走行性の向上を図ります。



施策④: 幅員再構築

(バリアフリー化、無電柱化、自転車走行空間、簡易中央分離帯の設置等)

国道330号において、道路用地内で幅員の見直しを行い、歩道のバリアフリー化、適切な植樹の配置、簡易中央分離帯の設置等を図ります。



自転車通行帯



簡易中央分離帯

施策⑤: 沿道ブロック別の地区交通計画(ゾーン対策)

各施策に併せて、沿線地域の交通規制や車両の走行速度抑制等を実施し、沿線地域内の交通環境の改善を図ります。



ハンプ設置状況



狭く設置状況

施策⑥: 周辺の幹線道路網の整備

通過交通の分散化及び生活道路からの排除を図るため、県道46号線バイパスの整備や国道330号平行幹線の機能強化を行う。



ブロック3

- 牧志壺屋線との連携で壺屋地区内の交通環境を改善
- 日野通り交差点の改良及びやちむん通り交差点の撤去
- 壺屋交差点の交通処理能力を向上

ブロック1

- 牧志・安里地区再開発との連携

ブロック2

- 県道46号線バイパス及び国道330号平行路線の整備
- 上記と同時期に、柴町交差点の撤去

ブロック4

- 県道46号線バイパス及び国道330号平行路線の整備
- 日野通り交差点の改良及びやちむん通り交差点の撤去
- 壺屋交差点の交通処理能力を向上

ブロック5

- 交差点集約において交通処理能力の向上
- 壺屋交差点の交通処理能力を向上
- 与儀公園前交差点を撤去

ブロック7

- 樋川南線で整備されている歩行者専用道路の路上駐車等の対策

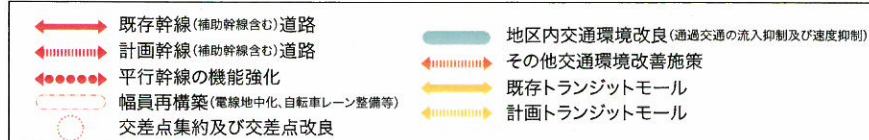
ブロック8

- 真地久茂地線の整備及びブロック7の整備との連携
- 与儀南交差点の撤去もしくは、歩行者専用交差点へ改良

ブロック6

- 壺屋交差点の交通処理能力を向上
- 国道330号平行路線の整備
- 神原小学校前交差点の改良及び与儀交差点前交差点の撤去

凡例



※交通処理能力:交差点において数多くの車を処理する能力

計画に関するQ&A

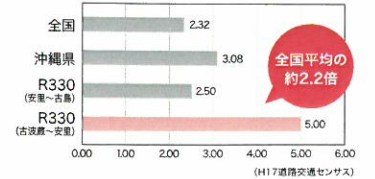
Q1

- ・国道330号の渋滞要因を教えてください。
- ・渋滞対策として、国道330号の道路拡幅は可能ですか？

A1

- ・県内の道路の中でも交通量が多く、また、交差点が近接していることが、渋滞の原因の一つとして考えられます。
- ・国道330号の拡幅は、公共施設及び家屋、マンション等が連続して立地していることから、早期の対応は困難な状況です。その為、交差点改良や信号制御の改良、交差点集約等の短中期対策の実施を検討しています。

一般国道都市部の信号交差点間隔の比較(箇所/km)



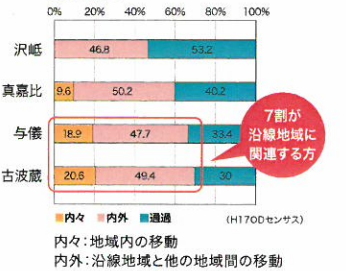
Q2

- ・国道330号はどのような人が利用しているのですか？

A2

- ・国道330号の利用交通は、3割が通過交通となりますが、7割が沿線地域にお住まいの方及び沿線地域に関連する方となります。地域の皆様の協力で国道330号及び沿線地域の交通改善を図って行きたいと考えています。
- ※通過交通:地域内に用事がない交通で国道330号を通過するだけの交通

交通の特性



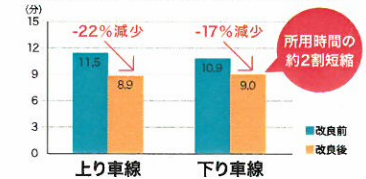
Q3

- ・交差点集約の効果を教えてください。
- ・交差点集約により、地域住民の利便性が低下するのではないですか？

A3

- ・交差点を集約することにより、国道330号の走行性が約2割向上します。
- ・交差点を集約することで、一部地域の方には迂回を行って頂く必要がありますが、国道330号の走行性が向上することで、沿線地域の方の他の地域への移動が早くなります。また、沿線地域内の生活道路からの通過交通の排除が図られ、結果として、沿線地域の利便性及び安全性の向上が図れることが期待できます。

所用時間の比較(筈辻交差点~姫百合通り交差点)

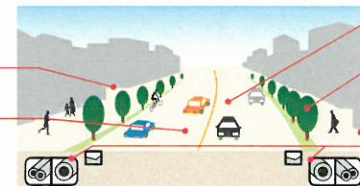


- ・上り(古波蔵→安里向け)
- ・下り(安里→古波蔵向け)
- ・マイクロシミュレーションによる解析(右折相当幅・信号サイクル・交差点集約の実施による予測効果)

道路のはたらき(道路は私たちの暮らしに欠かせないさまざまな機能を持っています。)

<交通機能>

- アクセス機能(土地や建物への出入サービス)
- トラフィック機能(自動車、自転車の通行サービス)



<空間機能>

- 防災空間機能(火災延焼防止スペース災害時の避難路)
- 生活環境保全機能(快適な歩行空間、憩空間、にぎわいを演出)
- 土地利用誘導機能(計画的市街地の形成、地域開発の誘導)
- 公共施設の収容機能(電気、ガス、上下水道、通信から地下鉄、地下街の収容)

国道330号沿線域交通環境整備計画の進め方について

●計画の推進体制

「国道330号沿線域交通環境整備計画」に示しています。国道330号沿線地域の交通環境整備を進める為に、沿線地域の市民、及び行政が、それぞれの役割分担・責任を認識し、連携・協働を行い、取り組みを進める事が必要です。そのために必要な行政間の連携や市民への情報発信等を行っていきます。

国道330号沿線域交通環境整備作業部会

- ・沖縄県土木建築部 道路街路課
- ・沖縄県土木建築部 道路管理課
- ・沖縄県土木建築部 都市計画・モノレール課
- ・沖縄県土木建築部 南部土木事務所
- ・沖縄県警察本部 交通規制課
- ・沖縄県警察 那覇警察署 交通対策課
- ・那覇市都市計画部 都市計画課
- ・那覇市建設管理部 道路建設課
- ・那覇市建設管理部 道路管理課

地域住民

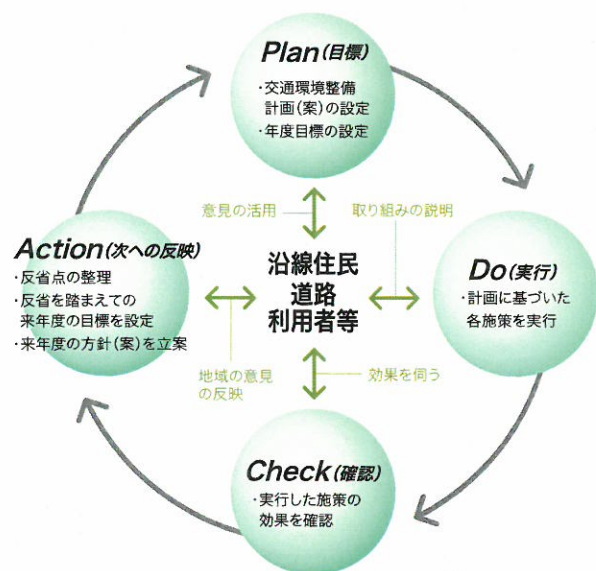
沿線地域住民 自治会 PTA 等

●ご協力へのお願い

今後、「国道330号沿線域交通環境整備計画」を進めるにあたり、国道330号沿線地域にお住まいの住民の皆様と、協働を進めていく必要があると考えておりますので、ご理解とご協力の程、宜しくお願いいたします。

●PDCAサイクル

施策の進め方につきましては、「国道330号沿線域交通環境整備計画」に基づき展開していきます。施策の展開におきましては、施策の点検、評価を継続的に行い、計画上の問題点が発生することがあれば、随時計画を見直します。



<計画策定機関>

●沖縄県土木建築部

TEL:098-869-1788 FAX:098-866-6906

●沖縄県警察本部 交通規制課

TEL:098-862-0110

●那覇市都市計画部 都市計画課

TEL:098-951-3246 FAX:098-951-3245

<問い合わせ事務局>

沖縄県土木建築部南部土木事務所 計画調査班

〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37 沖縄県南部合同庁舎

TEL:098-869-1788 FAX:098-866-6906